（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達サポートハウスたんぽぽ

公表日 2026年　9月　17日　職員８名在籍

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	児童の活動内容や特性、利用人数などに応じて、部屋を分け配慮をおこなう等工夫している。	引き続き、安心・安全な環境作りを心掛ける。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	基準人員を上回る児童指導員等を配置し、個別対応やその状況に応じた指導員が対応できるよう工夫している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	全てにおいてバリアフリーではないものの安全面に配慮し、また各部屋の特色がわかりやすく設定してあり、視覚支援での情報伝達など工夫している。	引き続き、わかりやすく過ごしやすい環境となるよう、配慮の必要性に応じて対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	時間を決め清掃や換気をおこなうと共に、活動に合わせて使い分けができ、取り組みやすい環境となっている。	感染対策などをおこないながら、清潔で心地よい環境整備を行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	8	0	必要に応じて担当指導員と話し合いながら、個別に部屋を使用できるよう設定している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	ミーティングにおいて、目標設定と振り返りを適査行っている。	PDCAサイクルを心掛け、現状把握と課題の共有に努めていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	保護者様よりいただいた評価表を基に、振り返りや改善点の洗いだしなど業務改善へと繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	適時意見交換の場を設け、職員からの意見や提案を取り入れ、業務改善へと繋げている。	意見の出しやすい仕組み作りと風土を築くことで職員会議での意見交換を充実させ、業務改善に努めていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	評価機関へ依頼しての外部評価は行っていないが、外部へ依頼している事業所の相談役に適切な施設運営や利用者様への対応方法など評価、相談をさせていただき業務改善へと繋げている。	第三者評価の実施については現在考えていないが、必要に応じて検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	年２回以上の外部研修への参加、月１回の事業所内研修をおこなっている。また、外部研修に参加しやすいよう勤務調整など配慮している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	8	0	職員間のミーティングにおいてプログラムを作成し、マンネリにならないよう工夫している。またその日に取り組んだプログラム（支援内容）については連絡帳に記載し、さらにピックアップして保護者様に口頭でお伝えしている。	保護者の皆様が周知できるよう努める。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	５か月に１度もしくは必要に応じてアセスメントとモニタリングをおこない、保護者様の移行や園での様子もふまえながら、児童発達管理責任者が個別計画の作成をおこなっている。	引き続き包括的な支援と具体的なプログラムの作成に努めます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	保護者様とのモニタリングやアセスメントを基に、支援に関わる職員で会議をおこない課題の共有や支援方法の共通認識をおこなう等、検討し個別計画案を作成している。	職員間の共通理解の拡充を図るため、非常勤職員との情報共有の機会を増やしていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	個別計画書についてはすべての職員が確認し、共通理解を深めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	遠城寺式やJsi-Rなど発達検査を用いると共に、日々の支援を通して行動観察などをおこない確認している。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	個別計画作成の際は、５領域に加え地域支援や移行支援、家族支援を含め、利用者様またはご家族様のニーズに寄り添いながら支援内容の設定をおこなっている。	引き続き利用者様の特性や発達状況を踏まえ、５領域に関する具体的な支援内容を設定していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	チームにわかれプログラムの検討や立案をおこない、微細運動と粗大運動を組み合わせ活動プログラムを決定している。	プログラムの方向性やねらい、関わり方を確認する場を設定し、多くの職員が参画することで、多角的な視点をもってプログラムの立案に努める。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	必要に応じて同じ活動を繰り返し取り組むことはあるが、基本的には支援計画に基づいて利用ごとにプログラムや活動メニューを変え意欲的に取り組めるよう工夫している。	発達段階に応じたプログラムの立案に努める。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	活動内容や特性など、様々なことを念頭に置いて、個別活動と集団活動を組み合わせながら支援することを心がけている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	適時、ミーティングをおこない役割分担や担当児童の確認、支援内容の打ち合わせをおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	8	0	支援終了後、情報共有や振り返りをおこない共通理解を深めている。	その場に参加できなかった職員にも情報共有がもれなくできるよう、申し送りノート活用をおこなう。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	支援後、活動記録を記入を漏れなくおこない、改善や支援内容の検証へと繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的に保護者様とモニタリングをおこない、個別計画の見直しをおこなっている。	引き続き利用者様、保護者様の思いやニーズを大切に、適切な見直しに努める。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	サービス担当者会議等会議の場には、児童発達管理責任者や担任が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	常に連携ができるよう体制を整えると共に、定期的に情報共有など連携をおこなっている。	関係機関との連携と事業所内での情報共有を円滑に行えるよう努める。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	必要に応じて情報共有や意見交換を実施し、相互理解を深めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	8	該当児が未だいない為、実施していない。しかしながら、必要な場合は連携できる体制を整えている。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	8	0	連携を図りながら必要に応じて助言をいただき、よりよい支援へと繋げている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8	施設内での支援を中心に支援をおこなっている為、交流の場を設けていないが、散歩や施設で開催した夏祭りでは地域の方との関りがもてる場を設定している。	保護者様の意見を募り、必要に応じて交流の場の設定を検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	来所、帰所時には担当職員が利用児の様子等を伝え共有すると共に、連絡帳にてお知らせしている。	相談しやすい相談支援体制を構築するよう努める。

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	個別面談にて、保護者様へ子育てなどの助言をしている。また、今後保護者様向けの研修会を検討している。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に詳しくお伝えしご理解いただけるよう努めている。また、運営規定等をまとめ保護者室にて閲覧いただけるよう準備している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	8	0	定期的にモニタリングやアセスメントをおこない、ご家族様や利用者様のご意向を尊重しながら個別計画の作成をおこなっている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	児童発達支援計画作成後は速やかに保護者様に説明をおこない、納得いただいた後、ご署名をもって同意としている。（専門的個別計画も同様）	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	適時、ご相談に対応できるよう体制を整えると共に、電話やSNSなど保護者様の要望に寄り添い対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	父母会や保護者会の開催は未だおこなっていないが、保護者様同士やご兄弟での交流ができるようご家族様参加型の夏祭りを開催した。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	迅速かつ丁寧に対応できるよう体制を整えている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	HPにて活動の様子やお知らせを掲載するとともに、施設の掲示板にてお知らせやイベント案内のチラシを掲示している。	個人情報の取り扱いに充分留意し、より良いHP・インスタグラムの活用に努める。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報については鍵付き書庫で管理すると共に持ち出しの禁止、処分時はシュレッダーを使用している。またセコムを導入し個人情報についてはできる限り留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	最適なツールを使用すると共に、伝え方に配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	地域の方が参加できる夏祭りの開催や施設見学会をおこなった。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	それらのマニュアルを策定すると共に、職員には定期的に研修や訓練をおこない周知している。また、保護者様にはいつでも閲覧いただけるようまとめたファイルを保護者室に設置している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	非常災害に備え定期的に訓練を実施している。また、消防署にご協力いただき指導、助言をいただいている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約時にご提出いただいている、健康調査票にて把握すると共に、定期的に健康面や服薬等変わりはないか確認し、職員で共有している。	緊急時に適切な対応ができるように、定期的にご利用者様の既往歴や服薬についての情報の更新、共有を行っていく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	8	施設内において原則食事の提供は行わない為、対応していない。利用者様のアレルギーについては、保護者様より健康調査票にてお知らせいただいているので職員で共有している。	指示があった際には、確実に全職員へ情報共有を行っていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画に基づいて、定期的な研修や訓練をおこなうと共に、安全点検をおこないながら安全に活動できるよう工夫している。	なるべく全職員が訓練に参加できるよう、日程調整に努める。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8	0	契約時に充分な説明をおこなうと共に、面談時等で説明している。	

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒアリハット発生後は、直ちに報告書を作成すると共に、職員全員で共有している。またミーティングにおいて対応策を検討し改善へと繋げている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止身体拘束防止関する研修会を年１回以上実施すると共に、定期的に虐待防止アンケートを職員全員に実施し防止に努めている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	虐待防止身体拘束防止委員会が中心となり、職員全員が認識すると共に、保護者様へ充分に説明し同意書へ署名いただき了解を得ている。	